

(様式2) 平成26年度 [自己評価報告書]

学校番号	5	学校名	川崎市立臨港中学校	校長名	吉水 之夫
------	---	-----	-----------	-----	-------

学校教育目標	学校経営の目標	今年度の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> ・自他を愛し、素直で誠意ある人の育成 ・責任感強く、たくましく勇気ある人の育成 ・礼儀正しく、質実清楚な人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を定着させるとともに、明るく生き生きとした学校づくり ・教科指導を充実し、「生きる力」を育む学校づくり ・道徳指導を充実し、お互いの個性を認め合う学校づくり ・家庭や地域から信頼される学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につける中で、自分の良さをみつけ、生活を向上させる力を育む ・互いの個性や特性を理解しあい、より良い人間関係を築いていく力を育む ・学習指導を充実させる中で、基礎・基本の定着を図り、「生きる力」を育む

評価項目	具体的な取組	実現状況(○)及び課題(▽)	具体的な改善策
1	学校運営	<p>安全、安心な教育環境の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育環境の充実 ・学習環境の充実 <p>○アンケートでは9割近くの生徒・保護者が「学校生活は楽しい(楽しんでいる)」8割近くの生徒・保護者が「臨港中に入学して良かった(入学させて良かった)」と回答していた。▽教職員アンケートでは4割が「自分の取組が学校のためになっているかどうか気になる」7割近くが「仕事を進める上で、もっと多くの人に意見を聞いてもらいたいと思っている」と回答していた。多忙を感じ、様々な教育課題に取り組む中で、悩みの多いことが表れているようである。</p> <p>▽保護者アンケートでは6割が学校の施設・設備面で不満をもっている。また教材・教具がかなり老朽化していて中には破損したのももあり早急に修理・購入する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートでは学校生活全般については肯定的な回答が多かった。この気持ちを大切にしていきたい。 ・今後も自尊心や規範意識を育んでいきたい。 ・情報提供については、学校だけでなく、学年・学級だけでなく、学校ホームページを活用するなど、周知していきたい。 ・教職員のコミュニケーションを円滑にする中で、教職員同士の信頼関係を大切にしながらお互いに連携を図り、組織として機能できるようにしていきたい。 ・学習環境の充実については、老朽化の著しい本校にとっては大きな課題であるが、早期対応に努めたい。 ・来年度、本格的にスタートする校務支援システムを円滑に運用していきたい。
2	教科指導	<p>学力向上に向けた授業改善の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学習習慣の確立 <p>○「学習意欲を引き出し、基礎学力を定着させる指導法の研究」を校内研究テーマとして、校内授業研究会を総合教育センターの指導主事を講師に招き実施した。(①特別活動②数学・英語)</p> <p>○保護者には教育課程説明会で各教科の評価内容や評価資料・対象を説明しているためアンケートでも評価について理解している割合が7割近くに達していた。</p> <p>▽7～8割の生徒が「授業は分かる」「授業中しっかり話を聞き、考えよう」と回答している。反面、1年生の7割、2,3年生の5割の生徒が「学力の向上には自信がなく不安」と思っている。分かるからできるようにするために、授業の工夫改善を行い、家庭での学習習慣も身につけさせたい。</p> <p>▽1,3年生の5割、2年生の7割の生徒が「公平に評価していない」と感じている。授業の中で評価方法等を説明し、周知させることが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ「学習意欲を引き出し、基礎学力を定着させる指導法の研究」をさらに推進し、特別支援教育の視点を大切にし、きめ細かい指導を実践し、基礎学力の充実を図っていきたい。 ・信頼性・公平性のある評価方法の研究及び推進に努めたい。 ・保護者にも協力を求め、家庭学習の習慣を身につけさせ、主体的に学習に取り組む態度を育成していきたい。 ・全国学力・学習状況調査の結果を丁寧に分析し、授業改善に役立てていきたい。
3	道徳教育	<p>教育活動全般を通じた豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究を通じた指導法の改善 ・授業時数の確保 <p>○学年によっては研修(勉強会)を実施し、学年全体で取り組むことができた。</p> <p>○共生＊共有プログラムの効果測定を実施し、生徒理解の一助にした。</p> <p>▽今年度は「道徳の時間の授業の進め方」の研修ができなかった。</p> <p>○3年生のアンケートでは8割の生徒が道徳の授業等を通して「社会のルール」や「人の生き方」「豊かな心」を育てていると回答している。これは3年間の成果であると思われる。</p> <p>▽1,2年生は上記の結果は5割にとどまった。今後は教材等を工夫しながら生命や人権を尊重する意識や豊かな心を育てる指導に努めていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間や全教育活動を通して人権尊重の意識を高める工夫をしていきたい。 ・年度当初に「道徳の時間」の進め方を「きらめき」を用いて研修したい。 ・授業参観でも「道徳の時間」の公開授業を一齐に行いたい。 ・全学年による研修(勉強会)は時間の確保もあり難しい面もある。少なくとも月1回の学年会で「道徳の時間」の進め方を確認し、内容を吟味していきたい。 ・共生＊共有プログラムの効果測定は学級や生徒の特徴をつかみ、指導に活かすためにも年2回は実施したい。そして実施後の活用について徹底していきたい。 ・文科省「私たちの道徳」の有効な活用について研修したい。
4	特別活動	<p>生徒一人一人の個性を尊重し、自立を促す指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動の充実と、各種行事の活性化 ・互いに信頼し、協力し合える生徒集団の育成 <p>○校内授業研究会を通して、話し合い活動への取り組み方について研修を深めることができた。</p> <p>○アンケートでは全学年とも9割近くの生徒・保護者が「体育祭や文化発表会など学校行事は楽しく充実している」と回答している。体育祭や合唱コンクール・文化発表会などの行事を通して協力し合える生徒集団の育成を図り、生徒・保護者ともに充実した活動であったと高い評価であった。</p> <p>○生徒会本部が中心となって朝清掃(ボランティア活動)を実施した。</p> <p>▽生徒アンケートでは5割弱の生徒が「環境美化に積極的に取り組んでいない」と回答している。全校生徒の取り組みとなるようにし、奉仕的活動を積極的に推進し学校行事的な活動となるようにしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「話し合い活動」への取り組みについて研修し、全校で同じ目標・形式をもって取り組んでいきたい。 ・生徒一人一人の個性を尊重し自立を促すよう、学校行事、生徒会活動をさらに活性化させたい。 ・日常の生徒会活動や委員会活動を活性化するとともに、情報発信を充実させ、家庭や地域に伝えていきたい。 ・各集団でのリーダー養成のため、リーダー研修を計画し実施していきたい。 ・生徒総会や生徒議会・生徒朝会等を活用し清掃活動への取り組みを生徒会本部が中心となり推進していきたい。 ・自己肯定感を育むため、部活動を活性化。また、保護者の理解と協力を得るための情報提供を積極的に行いたい。

5	生徒指導	<p>基本的な生活習慣の確立と生徒理解の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や服装などの基本的な生活習慣の確立に向けた指導の徹底 ・相談活動の充実と生徒理解の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶運動や校内巡回を通して、常に生徒の様子を把握することに努めた。 ○年3回、教育相談週間を設け、いじめ等の早期発見に努め相談活動を実施した。 ○警察関係の協力が「命の大切さを学ぶ教室」や「サイバー犯罪防止教室」を生徒だけでなく保護者にも参加を呼びかけ実施した。 ▽アンケートでは1,2年生の7割、3年生の5割の生徒が「相談事や悩みなど、気軽に先生に相談できない」と回答している。先生方が多忙であることが原因の一つであると考えられる。 ▽挨拶や身だしなみ・時間については、継続して指導しているが、一部生徒への指導には難しさがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に、全教職員で生徒指導の方針を必ず確認したい。 ・相談活動をさらに充実させるために、日頃から相談事や悩みなど、気軽に生徒が教員に相談できる環境をつくっていききたい。 ・次年度も主任会、職員会議、朝の打ち合わせ等を利用し、全教職員で情報を共有化し、報告・連絡、相談を徹底していききたい。 ・保護者、地域との協力を進めるとともに関係諸機関との連携をさらに強化していききたい。 ・川崎市いじめ防止ガイドラインをもとに、学校いじめ防止基本方針を策定する。 ・いじめへの的確な対応をしていききたい。そして、いじめや差別を「しない、させない、見逃さない」環境をつくっていききたい。ライン等の使い方指導の徹底。 ・運動部活動指導における健全な指導の在り方を見つめ直し、体罰のない指導体制を構築していききたい。
6	特別支援教育	<p>特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする生徒一人一人の教育的ニーズに応えたきめ細かな教育の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学級(知的・難聴)や相談指導学級(情緒)の生徒へは、担任を中心にきめ細かく対応できた。 ○校内授業研究会では教科の指導主事の他に、特別支援教育センターの指導主事を講師に招き、特別支援教育の視点でも職員研修を行い、理解を深めた。 ○1年生の通常学級で数学を中心に学習支援を実施した。 ▽通常の学級で対象となる生徒への対応について組織的に行うことができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級で学習面や生活面で特別配慮が必要となる生徒への対応について、「校内組織、支援体制、相談体制」を整備し、特別支援コーディネーターを中心に組織的に取り組むと同時に、関係諸機関との連携に努めていききたい。 ・保護者への説明と相談活動が円滑に行えるように努めていききたい。
7	健康安全管理	<p>生徒の健康、安全を守る教職員の意識を高め、事故の防止に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急対応マニュアルを作成し、危機管理意識を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校医や警察署と連携し、「薬物乱用防止教室」や「熱中症予防講演会」を実施した。また、保健福祉センターに依頼し、「自分の体を大切にしよう」をテーマに性に関する健康教育も実施した。 ○年3回、避難訓練・防災訓練を実施した。火災や地震での避難について円滑に実施することができた。 ○健康教育(食育)に関する研究授業を実施した。 ▽校舎施設の老朽化に伴い、教室照度の改善や階段手摺りの設置など修理に努めている。しかし、アンケートでは、保護者の約4割が事故防止を配慮し施設・設備の点検が十分でないと回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医との連携をさらに深め、連絡を密にしていきたい。 ・全教職員がAEDの使用法と心肺蘇生法を再度確認し、緊急な場面で処置できるようにしたい。 ・各施設の管理責任者を明確にし、定期的な点検を確実にやりたい。 ・地震や津波に対する避難方法について日頃から指導し、防災意識の向上に努めていききたい。
8	保護者・地域との連携	<p>生徒の健全育成に向けた連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全般にわたる支援とPTA会員相互の理解の伸張 ・地域教育会議との連携 ・小中連携教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくりを促進するために、PTA・地域との協力関係をさらに深めていききたい。 ・PTA活動の報告など、さらに広報活動の充実を図りたい。 ・小中連携教育をより一層推進するために、児童生徒指導を含めてさらに交流を深めたい。 ・地域体験活動を中心に、地域教育会議との連携をさらに促進したい。また、職場体験を通して、キャリア教育を推進していききたい。 ・学校評価(アンケート集計)や学校推進会議を活用して学校運営を活性化していききたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくりを促進するために、PTA・地域との協力関係をさらに深めていききたい。 ・PTA活動の報告など、さらに広報活動の充実を図りたい。 ・小中連携教育をより一層推進するために、児童生徒指導を含めてさらに交流を深めたい。 ・地域体験活動を中心に、地域教育会議との連携をさらに促進したい。 ・学校評価(アンケート集計)や学校推進会議を活用して学校運営を活性化していききたい。

学校関係者の評価	今年度のまとめ・次年度へ向けての取組
<p>①学校評価アンケートについて</p> <p>質問の仕方が大変難しいのではないかと。中学校生活は楽しいですか。という質問でも生徒によってまた学年によって「楽しさ」の規準が違うと感じる。そのため、このアンケートの結果の扱い方は来年度に向けて先生方や子どもたちが元気になり良いスタートをきるために実施するのだという観点も大事にしてほしい。</p> <p>②生徒の活動について</p> <p>先日の卒業式は感動的で大変素晴らしい。それは毎日の小さな活動の積み重ねがあつての結果だと感じる。現在、生徒会本部が中心となってボランティア「美化清掃活動」を実施しているがこのような地道な活動を大切にしたい。地域も応援していききたい。</p> <p>③小・中・支援学校の連携について</p> <p>例年実施している授業参観だけでなく、例えば給食指導研修や授業方法の研修、特別支援教育をテーマにした研修などを関係機関に協力を求めながら実施することも検討していただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も学校教育のあるべき姿をしっかりと見定めて、家庭と地域との十分な連携・協力のもとに、学校運営を推進していききたい。 ・次年度も笑顔を絶やさず、いじめや体罰のない学校を目指し、「凡事徹底」の精神が生徒に浸透するようにしていききたい。 ・教育活動は生徒と教職員のふれあいに基つき、相互の信頼関係の上に進められていることを意識し、次年度もコミュニケーションを大切にしていきたい。 ・今まで通り学習指導と生徒指導を大切にしていこう。基本的な生活習慣や家庭学習については、学校と家庭が一体となって取り組まなければならない問題なので、保護者の方々に挨拶や掃除、服装、家庭学習等について具体的な取組を提案していききたい。 ・保護者からのアンケートでは学習面への期待の声が強くなる。「分かる授業」をキーワードとし、基礎学力が不足している生徒への指導のあり方、学習の躓きの原因分析など分かりやすい授業づくりに取り組んでいきたい。 ・特別支援教育の校内体制の基礎をつくっていききたい。特別支援モデル校として、次年度も非常勤講師の配置など、人的な課題も市教委に是非お願いしたい。 ・今年度開校・開所した田島支援学校・児童養護施設との円滑な連携を図っていききたい。 ・全国学力・学習状況調査の結果を丁寧に分析し、基礎学力の充実、自尊感情・規範意識の向上に努めていききたい。